

総括質疑

池田りんたろう 議員 (北区)

1. 神戸観光の振興に資する交通手段の充実について

Q DMOとして「神戸観光局」の設立が予定されているが、どのように神戸観光の振興と交通手段の充実を図るのか。

A 幅広い分野のプレーヤーの参画により、これまででない観点で提案いただけることを期待している。様々な観点からの公共交通の充実に取り組みたい。



2. 児童虐待とDV対策の組織のあり方について

Q DVに関わる諸課題は福祉的な要素が強いため、担当部局ごとに分かれている現行体制を見直すべきと思うがどうか。

A 区役所とDVセンター、保健福祉局、くらし支援窓口や地域福祉ネットワークなどがチームを組んで情報を共有しながら連携して対応するのが現実的ではないかと思う。現場の意見を聞きながら、改善していきたい。

3. 精神障害者支援について

Q 精神障害者を身体・知的障害者と差別せず同等に扱うべきという観点から、市内交通事業者に対して、精神障害者に対する割引制度の導入を働き掛けられたい。

A まず、市内の民間バス事業者に対して、精神障害者の運賃割引を行うよう、働きかけを行っていく。さらに、鉄道事業者に対しては、精神障害者を運賃割引の対象にするよう、引き続き国に要望を行っていく。

4. 水道事業における技術・ノウハウの継承について

Q 現在、水道事業における技術・ノウハウの継承が課題になっている。研修センターを設けて近隣市町の職員を受け入れるなど技術の修得・継承を図る取組が重要と考えるがどうか。

A 県においては、橋梁や下水などで中小自治体を支援する仕組みができており、水道においても同様の仕組みが構築できないか、県と一緒に検討していきたい。

一般質問

永江一之 議員 (灘区)

1. 若者に選ばれる街を実現するための工夫について

神戸市には若者の心に響くオシャレで洗練されたイメージがあり、大都市でありながら自然も豊かで、土地は少なめですが人口密度も程よく、東京や大阪などと比べても本当に住みやすい街だと思います。

そんな神戸の魅力を最大限活用し、地域で既に素晴らしい実績を上げているデザインクリエイティブセンターのKITTOや神戸フィルムオフィスの取り組みをもっと広く市民に伝え、神戸市としてもっと活用し応援していくことが大切ではないかとの思いで市長に質問させていただきました。



2. 豪雨災害への対応について

年々、豪雨による災害が増え続けています。共働き世帯が増加するなど、昔のような地域単位での情報伝達の効果が薄まる中、確実に土砂災害に関する必要な情報を住民に届けられることができるよう、広報手法の工夫が必要と考え、市長に質問しました。

3. 六甲山の将来像について

六甲山の活性化を図るため「都心の将来ビジョン」や「神戸港周辺の将来像」と同様に、六甲山の将来ビジョンや各エリアの目指すべき姿を定めるべきだと思い質問しました。

4. 振り込め詐欺などから市民を守る取り組みについて

判断能力が落ちてきているお年寄りを狙って、知恵を振り絞ってこのような詐欺行為をするという、この純粋な悪意に対して、神戸市としてはっきりと対峙していく姿勢を示さなければならないと思います。詐欺を防ぐ対策の広報について質問させていただきました。

決算特別委員会

各会計の予算及び関連議案は、総合的・一元的に一つの委員会で審査することが適切であるとの考えから、3つの分科会を設けて、審査を行っています。



委員長 岩田よしあき (西区)

●第1分科会



藤原武光 (垂水区)



川内きよなお (垂水区)

●第2分科会



池田りんたろう (北区)



大井としひろ (須磨区)



副議長 川原田弘子 (垂水区)

●第3分科会



理事 平木ひろみ (中央区)



人見 誠 (北区)



永江一之 (灘区)